

子供の頃、私は文章が書けませんでした。とはいえ私自身は本を読むことは嫌いではなく、むしろ比較的読む方だったと思います。また、書きたいこともあったと思うのですが、それを文字に落とし込む段階になると頭の中がぐちゃぐちゃになり一行も書けなくなってしまったのです。

そのため、よく居残りさせられ、作文の授業になるとひどく憂鬱でした。しかもそれは思春期以降も続き、高校においてさえも400字程度の文章の作成ができず、期限を過ぎて100字程度で何とか提出したところ、国語が最低に近い評価になった記憶があります。大学でも同様の状態だったのですが、大学ではレポートの提出などもあり、文章を書く機会が格段に上がります。どうしたものかと悩んだ末、とりあえず、本などから文章を抜き出して切り張りし、言回しなどを少し書き替えるようにしました。

するとどうでしょう。それをやりながらある時、頭の中で何かがかっちりとはまり、気が付くと文章が書けるようになっていたのです。模写と文章の組替えを通じて私は、文章を書くのに必要な最後のピースが埋まることになりました。

今考えると書けなかった頃は軽度の発達障害があったかもしれません。また、読書は小説ばかりでノンフィクションを読んでこなかったことも影響している気がします。

ただ一方で、授業では課題ばかりで、どうすれば書けるようになるかといった視点が欠けていたように思います。現在の授業がどうなっているかわかりませんが、書けない子供への深いサポートが必要で

あるように感じています。また私のような経験をもつ者からすると、ある人が子どもの頃全くできなかったとしても、その人の進む道が閉ざされることのない世の中であって欲しいと願わずにはられません。文章の書けなかった私がこうして編集の道に進めたのですから。(S.S)

先日、太陽光発電システムの営業マンの訪問を受け、昨今のトレンドを知るため説明を聞いてみました。報道でよく耳にする売電価格の値下がりから自家使用が基本となっており、日中は2kW使用、夜間のために3kW充電ということで5kWの専用バッテリーとソーラーパネル、変換機のセットでざっくり300万円弱とのこと。

うちは電気使用量が大きく、電気代の月平均が約15,000円のため、年間18万円ていど。つまり、16年間で元が取れるというのです。

いや待て、先週もの凄い電が屋根を襲ったな、パネルに電が直撃したら壊れてしまうのではないか。5cmほどの電で、時速100kmを超えるそうで、ニュースでは自動車の屋根やボンネットがぼこぼこになっていた。

しかも、富士山はいつ噴火してもおかしくない時期だ。火山灰は目の細かいものだと精密機器の中にも入り、機械を損傷させてしまうそうです。

これから、いろいろな物の値上がりがさらに予想される中、太陽光発電には魅力を感じますが、自然環境の変化を考えると、リスクも大きいのかもかもしれません。(Y.H)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知して、そこへ行った時

Raisers第70巻第4号(通巻第755号) 2022年7月10日発行

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)